



メッセージ トラッキング

この章は、次の項で構成されています。

- [メッセージ トラッキングの概要, 1 ページ](#)
- [メッセージ トラッキングの有効化, 1 ページ](#)
- [メッセージの検索, 3 ページ](#)
- [メッセージ トラッキングの検索結果の使用, 5 ページ](#)
- [メッセージ トラッキング データの有効性の検査, 9 ページ](#)
- [メッセージ トラッキングのトラブルシューティング, 10 ページ](#)

メッセージ トラッキングの概要

メッセージ トラッキングにより、メッセージ フローの詳細なビューを表示することでヘルプデスク コールを解決に役立ちます。たとえば、メッセージが想定どおりに配信されない場合、ウイルス感染が検出されたか、スパム隔離に入れられたか、あるいはメール ストリーム以外の場所にあるのかを判断できます。

ユーザが指定した基準に一致する特定の電子メール メッセージまたはメッセージのグループを検索できます。



(注) メッセージの内容を読み取るためにメッセージ トラッキングは使用できません。

メッセージ トラッキングの有効化



(注) メッセージ トラッキングのデータは、この機能をイネーブルにした後で処理されたメッセージに対してのみ保持されます。

はじめる前に

- メッセージトラッキングで添付ファイル名を検索して表示したり、ログファイル内の添付ファイル名を表示したりするには、メッセージフィルタやコンテンツフィルタなどの本文スキャンプロセスを少なくとも1つ設定してイネーブルにする必要があります。
- 件名での検索をサポートするには、ログファイルで件名ヘッダーを記録するように設定する必要があります。詳細については、[ログ](#)を参照してください。
- 中央集中型トラッキングを設定する場合：該当するEメールセキュリティアプライアンスの中央集中型メッセージトラッキングをサポートするように、セキュリティ管理アプライアンスを設定します。『Cisco Content Security Management Appliance User Guide』を参照してください。

ステップ1 [サービス (Services)] > [集中管理サービス (Centralized Services)] > [メッセージトラッキング (Message Tracking)] をクリックします。

このサービスを一元管理する予定ではない場合でも、このパスを使用します。

ステップ2 [メッセージトラッキングサービスを有効にする (Enable Message Tracking Service)] を選択します。

ステップ3 システム設定ウィザードを実行してから初めてメッセージトラッキングをイネーブルにする場合は、エンドユーザライセンス契約書を確認し、[承認 (Accept)] をクリックします。

ステップ4 メッセージトラッキングサービスを選択します。

オプション	説明
ローカルトラッキング (Local Tracking)	このアプライアンスでメッセージトラッキングを使用します。
中央集中型トラッキング (Centralized Tracking)	これを含め複数のEメールセキュリティアプライアンスのメッセージをトレースするためにセキュリティ管理アプライアンスを使用します。

ステップ5 (任意) 拒否された接続に関する情報を保存するチェックボックスをオンにします。最適なパフォーマンスを得るために、この設定を無効にしたままにします。

ステップ6 変更を送信し、保存します。

次の作業

ローカルトラッキングを選択した場合、次を実行します。

- [誰がDLP違反に関連したコンテンツにアクセスできるかを選択します。メッセージトラッキングでの機密情報へのアクセスの制御](#)を参照してください。

- (任意) メッセージを保存するためのディスク領域の割り当てを調整します。ディスク領域の管理を参照してください。

メッセージの検索

ステップ 1 [メール (Email)]>[メッセージトラッキング (Message Tracking)]>[メッセージトラッキング (Message Tracking)] を選択します。

ステップ 2 検索条件を入力します。

- すべてのオプションを表示するには、[詳細 (Advanced)] リンクをクリックします。
- トラッキングでは、ワイルドカード文字や正規表現はサポートされません。
- トラッキング検索では大文字と小文字は区別されません。
- 特に指定のない限り、クエリーは「AND」検索です。クエリーは、検索フィールドに指定されたすべての条件に一致するメッセージを返します。たとえば、エンベロップ受信者と件名行のパラメータにテキストストリングを指定すると、クエリーは、指定されたエンベロップ受信者と件名行の両方に一致するメッセージだけを返します。
- 検索条件は、次のとおりです。

オプション	説明
エンベロップ送信者	[次で始まる (Begins With)]、[次に合致する (Is)] または [次を含む (Contains)] を選択し、そしてメッセージ送信者を検索するための電子メールアドレス、ユーザ名、ドメインを入力します。 文字を入力できます。入力した内容は実行されません。
エンベロップ受信者	[次で始まる (Begins With)]、[次に合致する (Is)] または [次を含む (Contains)] を選択し、そしてメッセージ受信者を検索するための電子メールアドレス、ユーザ名、ドメインを入力します。 文字を入力できます。入力した内容は実行されません。
Subject	[次で始まる (Begins With)]、[次に合致する (Is)] または [次を含む (Contains)] を選択し、そしてメッセージの件名行で検索するテキスト文字列を入力します。 警告：規制によりそのようなトラッキングが禁止されている環境では、このタイプの検索を使用しないでください。

オプション	説明
受信したメッセージ数 (Message Received)	<p>日時の範囲を指定します。</p> <p>日付を指定しなければ、クエリーは、すべての日付に対するデータを返します。時間範囲だけを指定すると、クエリーは、すべての利用可能な日付にわたってその時間範囲内のデータを返します。</p> <p>メッセージがEメールセキュリティアプライアンスによって受信された現地日時を使用します。</p>
詳細オプション	
送信者IPアドレス/ドメイン/ネットワーク所有者 (Sender IP Address/ Domain / Network Owner)	<p>リモートホストのIPアドレス、ドメイン、またはネットワーク所有者を指定します。</p> <p>拒否された接続のみまたはすべてのメッセージを検索の範囲で検索できます。</p>
添付ファイル (Attachment)	<p>[次で始まる (Begins With)]、[次に合致する (Is)]または[次を含む (Contains)]を選択し、検索する添付ファイル名のASCIIまたはUnicodeテキスト文字列を入力します。入力したテキストの先頭および末尾のスペースは除去されません。</p> <p>添付ファイル名でメッセージを検索できるのは、以下の操作を実行している場合だけです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • メッセージフィルタを使用した本文スキャン • コンテンツフィルタを使用した本文スキャン • 高度なマルウェア防御 (AMP) スキャン <p>SHA-256 ハッシュに基づいたファイルの識別方法については、SHA-256 ハッシュによるファイルの識別を参照してください。</p>
メッセージイベント (Message Event)	<p>1つ以上のメッセージ処理イベントを選択します。たとえば、配信メッセージ、隔離メッセージ、ハードバウンズメッセージを検索できます。</p> <p>メッセージイベントは「OR」演算子を使用して追加されます。複数のイベントを選択して、指定した条件の任意のものと一致するメッセージを検索します。</p>
メッセージIDヘッダー (Message ID Header)	<p>SMTPメッセージIDヘッダーのテキスト文字列を入力します。</p> <p>このRFC 822メッセージヘッダーは、各電子メールメッセージを識別します。これは最初にメッセージが作成されるときに挿入されます。</p>

オプション	説明
Cisco IronPort MID	検索するメッセージ番号を入力します。IronPort MID は、E メールセキュリティアプライアンス上の各電子メールメッセージを一意に識別します。
Cisco IronPortホスト (Cisco IronPort Host)	特定の E メールセキュリティアプライアンスを選択してそのアプライアンスで処理されたメッセージだけに検索対象を限定するか、またはすべてのアプライアンスを選択します。

ステップ 3 [検索 (Search)] をクリックして、クエリーを送信します。
クエリー結果がページの下部に表示されます。

メッセージトラッキングの検索結果の使用

次の点に留意してください。

- Eメールセキュリティアプライアンスのログに記録され、セキュリティ管理アプライアンスが取得済みのメッセージのみが検索結果に表示されます。ログのサイズとポーリングの頻度によっては、電子メールメッセージが送信された時間と、それがトラッキングとレポートリングの結果に実際に表示される時間との間にわずかな差が生じることがあります。
- 高度なマルウェア防御 (ファイルレピュテーションスキャンおよびファイル分析) を使用する検索については、[メッセージトラッキング機能と高度なマルウェア防御機能について](#)を参照してください。

検索結果を使用する場合に実行できる操作：

- 検索条件に戻って、クエリー設定の [詳細 (Advanced)] をクリックし、[クエリ設定 (Query Settings)] までスクロールし、結果の最大数を 1000 に設定すると、250 件以上の検索結果を表示できます。
- 検索結果セクションの右上でオプションを選択すると、各ページに表示される結果を増やすことができます。
- 検索結果セクションの右上から、複数のページの検索結果内を移動できます。
- 条件として追加する検索結果の値の上でカーソルを移動すると、検索結果を限定できます。オレンジ色で強調表示されている場合は、その値をクリックすると、その条件で検索を絞り込むことができます。これで、検索条件が追加されます。たとえば、特定の受信者に送信されたメッセージを検索した場合は、検索結果で送信者の名前をクリックすると、最初に指定した時間範囲内の (および、その他の条件を満たす)、その送信者からその受信者へのすべてのメッセージを見つけることができます。

- 検索条件に 1000 件以上のメッセージが一致する場合、（検索結果セクションの右上にあるリンク）[すべてエクスポート（Export All）] をクリックし、最大 50,000 件の検索結果をカンマ区切り形式ファイルとしてエクスポートし、他のアプリケーションでデータを使用できます。
- メッセージの行の [詳細の表示（Show Details）] をクリックすると、メッセージの詳細情報を表示できます。メッセージの詳細を表示した新しいブラウザ ウィンドウが開きます。
- 隔離されたメッセージの場合、メッセージが隔離された理由などの詳細情報を表示するにはメッセージトラッキングの検索結果のリンクをクリックします。



(注) レポート ページのリンクをクリックして、メッセージトラッキングのメッセージ詳細を表示したが、その結果が予期したものでない場合があります。これは、確認している期間中に、レポートとトラッキングを同時に継続してイネーブルにしていなかった場合に発生する可能性があります。

メッセージトラッキングの詳細

項目	説明
[エンベロープとヘッダーのサマリー（Envelope and Header Summary）] セクション	
受信時間（Received Time）	E メールセキュリティ アプライアンスがメッセージを受信した時間。 日時は、E メールセキュリティ アプライアンスで設定される現地時間を使用して表示されます。
MID	一義的な IronPort メッセージ ID。
メッセージ サイズ（Message Size）	メッセージ サイズ。
Subject	メッセージの件名リスト。 トラッキング結果の件名行は、メッセージの件名がないか、ログ ファイルで件名ヘッダーを記録するよう設定されていない場合、[（件名なし）（No Subject）] という値になる場合があります。詳細については、 ログ を参照してください。
エンベロープ送信者（Envelope Sender）	SMTP エンベロープ内の送信者のアドレス。

項目	説明
エンベロープ受信者 (Envelope Recipients)	<p>導入でエイリアス拡張のためのエイリアス テーブルを使用する場合、検索では元のエンベロープ アドレスではなく拡張された受信者アドレスを見つけます。エイリアス テーブルの詳細については、「ルーティングおよび配信機能の設定」の章にある「エイリアス テーブルの作成」を参照してください。</p> <p>それ以外のあらゆる場合においては、メッセージ トラッキング クエリーによって本来のエンベロープ受信者アドレスが検索されます。</p>
メッセージ ID ヘッダー (Message ID Header)	RFC 822 のメッセージ ヘッダー。
SMTP 認証ユーザ ID (SMTP Auth User ID)	送信者が SMTP 認証を使用してメッセージを送信した場合は、SMTP で認証された送信者のユーザ名。それ以外の場合、この値は「なし (N/A)」となります。
添付ファイル	<p>メッセージに添付されたファイルの名前。</p> <p>名前に対してクエリーが実行された少なくとも1つの添付ファイルを含むメッセージが検索結果に表示されます。</p> <p>トラッキングできない添付ファイルもあります。パフォーマンス上の理由から、添付ファイル名のスキャンは他のスキャン動作の一環としてのみ実行されます。たとえば、メッセージまたはコンテンツ フィルタリング、DLP、免責事項スタンプなどです。添付ファイル名は、添付ファイルがまだ添付されている間に本文スキャンを通過するメッセージに対してのみ使用できます。添付ファイルの名前が検索結果に表示されない状況を含みます (ただし限定はされません)。</p> <ul style="list-style-type: none"> システムがコンテンツ フィルタのみを使用しているときに、メッセージがドロップされるか、またはその添付ファイルがアンチスパムまたはアンチウイルス フィルタによって削除された場合 本文スキャンが実行される前に、メッセージ分裂ポリシーによって一部のメッセージから添付ファイルが削除された場合 <p>パフォーマンス上の理由から、添付ファイル内のファイルの名前 (たとえば、OLE オブジェクトや、.ZIP ファイルなどのアーカイブ) は検索されません。</p>
[ホストサマリーの送信 (Sending Host Summary)] セクション	

項目	説明
逆引き DNS ホスト名 (Reverse DNS Hostname)	逆引き DNS (PTR) ルックアップによって検証される送信ホストの名前。
[IPアドレス (IP Address)]	送信元ホストの IP アドレス。
SBRS スコア (SBRS Score)	<p>SenderBase レピュテーション スコア。範囲は、10 (最も信頼できる送信者) ~ -10 (明らかなスパム送信者) です。スコアが「なし (None)」の場合、そのメッセージが処理された時点で、このホストに関する情報が存在しなかったことを意味します。</p> <p>SBRS の詳細については、送信者レピュテーション フィルタリングを参照してください。</p>
[処理詳細 (Processing Details)] セクション	
<p>要約情報</p> <p>(以下のタブのいずれかが表示されている場合、この情報はタブに表示されます。常にサマリー情報を表示します)。</p>	<p>[サマリー (Summary)]タブでは、メッセージ処理中に記録されるステータス イベントを表示します。</p> <p>エントリには、メール ポリシーの処理 (アンチスパム スキャンやアンチウイルス スキャンなど) とメッセージ分割などの他のイベントに関する情報、およびコンテンツまたはメッセージフィルタによって追加されるカスタム ログ エントリが含まれます。</p> <p>メッセージが配信された場合、配信の詳細がここに表示されます。</p> <p>記録された最新のイベントは、処理の詳細内で強調表示されます。</p>
DLP に一致した内容 (DLP Matched Content) タブ	<p>このタブは、DLP ポリシーによって検出されたメッセージに対してのみ表示されます。</p> <p>このタブには、DLP ポリシーの一致をトリガーした機密のコンテンツに加え、一致に関する情報が含まれます。</p> <p>この情報を表示するにはアプライアンスを設定する必要があります。「メッセージトラッキングでの機密性の高い DLP データの表示」を参照してください。</p> <p>このタブへのアクセスを制御するには、メッセージトラッキングでの機密情報へのアクセスの制御を参照してください。</p>

項目	説明
[URL の詳細 (URL Details)] タブ	<p>このタブは、URL レピュテーション コンテンツ フィルタと URL カテゴリ コンテンツ フィルタ、およびアウトブレイク フィルタによって捕捉されたメッセージに対してのみ表示されます。</p> <p>このタブには、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • URLに関連付けられているレピュテーションスコアまたはカテゴリ • URL に対して実行されたアクション（書き換え、危険の除去、またはリダイレクト） • メッセージに複数の URL が含まれている場合、フィルタアクションの原因となった URL。 <p>この情報を表示するにはアプライアンスを設定する必要があります。「メッセージトラッキングの URL 詳細の表示」を参照してください。</p> <p>このタブへのアクセスを制御するには、メッセージトラッキングでの機密情報へのアクセスの制御を参照してください。</p>

メッセージトラッキングデータの有効性の検査

メッセージトラッキングデータに含まれる日付範囲を確認すること、およびそのデータの欠落インターバルを識別することができます。

-
- ステップ 1** [モニタ (Monitor)] > [メッセージトラッキング (Message Tracking)] を選択します。
- ステップ 2** 右上隅にある [検索 (Search)] ボックスに表示される [時間範囲内のデータ: (Data in time range:)] を確認します。
- ステップ 3** [時間範囲内のデータ: (Data in time range:)] で示される値をクリックします。
-

メッセージトラッキングおよびアップグレードについて

新しいメッセージトラッキング機能は、アップグレードの前に処理されたメッセージには適用できない場合があります。これは、これらのメッセージについては、必須データが保持されていない場合があるためです。メッセージトラッキングデータおよびアップグレードに関連する制限については、ご使用のリリースのリリース ノートを参照してください。

メッセージトラッキングのトラブルシューティング

添付ファイルが検索結果に表示されない

問題

添付ファイル名が検出されず、検索結果に表示されません。

ソリューション

[メッセージトラッキングの有効化](#)、(1 ページ) を参照してください。[メッセージトラッキングの詳細](#)、(6 ページ) の添付ファイル名の検索の制約についても参照してください。

予想されるメッセージが検索結果に表示されない

問題

条件に一致するメッセージが検索結果に含まれていません。

ソリューション

- さまざまな検索の結果、特にメッセージイベントに関連する検索の結果は、アプリケーションの設定によって異なります。たとえばフィルタ処理していない URL カテゴリを検索すると、メッセージにそのカテゴリの URL が含まれていても、結果には表示されません。意図した動作を実現するように E メールセキュリティ アプライアンスが正しく設定されていることを確認します。メールポリシー、コンテンツフィルタおよびメッセージフィルタ、隔離の設定などを確認してください。
- レポートのリンクをクリックしても予想される情報が表示されない場合は、[電子メールレポートのトラブルシューティング](#)を参照してください。